

愛知県犬山市庄内川水系で発見された国内外来種カネヒラ

大仲知樹*

First records of non-indigenous freshwater fish,
Acheilognathus rhombeus (Cypriformes: Cyprinidae) collected from Shonai river system,
Inuyama City, Aichi prefecture

Tomoki Ohnaka*

はじめに

カネヒラ *Acheilognathus rhombeus* (Temminck et Sclegel, 1846) は滋賀県以西の本州、四国、九州および韓国にかけて分布するコイ科の大型タナゴ類である。本種は上記以外の水系で水産用有用種の種苗に混入するなどして放流され定着・増加し、国内外来種として駆除対象種となる側面を持っている（北村・内山, 2020）。愛知県尾張地方では一宮市内を流れる木曾川で確認されており（国土交通省, 2020）、上流である犬山市でも生息の可能性はあるものの未だに公式な記録はない。

筆者は、愛知県犬山市内にある木曾川からの取水の影響や琵琶湖産アユの種苗放流のない庄内川水系五条川で本種を採集したので報告する。

記録

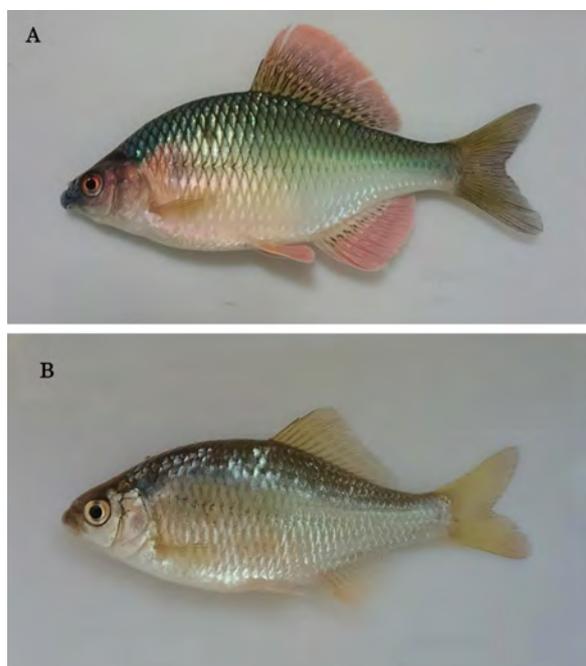
カネヒラ *Acheilognathus rhombeus* (Temminck et Sclegel, 1846) (第1図)

標本 A：オス。

採集データ：犬山市五条川，2020年10月3日。

採集者 大仲知樹。

犬山里山学センター保管（標本番号 IISS-F131）。



第1図. 犬山市五条川で採集されたカネヒラ *Acheilognathus rhombeus*. A：オス 全長 98.2 mm（標本番号 IISS-F131），B：メス 全長 62.9 mm（標本番号 IISS-F130）。

標本 B：メス。

採集データ：犬山市五条川，2020年8月8日。

採集者 大仲知樹。

犬山里山学センター保管（標本番号 IISS-F130）。

*NPO 法人犬山里山学研究所. Inuyama Institute for Satoyama Science, 364-2 Tonoji Ohguro, Inuyama Aichi 484-0094, Japan. E-mail: inuyama@satoyama-gaku.jp

原稿受付 2020年10月15日. Manuscript received Oct. 15, 2020.

原稿受理 2020年10月29日. Manuscript accepted Oct. 29, 2020.

キーワード：カネヒラ, 国内外来種, 犬山市, 庄内川水系, 観賞魚。

Key words : *Acheilognathus rhombeus*, non-indigenous, Inuyama City, Shonai riversystem, aquarium fish.

第1表. 得られた標本の外部形態と中村(1969)との比較.

	IISS-F131	IISS-F130	中村(1969) n=20
性別	♂	♀	
全長 (mm)	98.2	62.9	72.2 ~ 111.6
標準体長 (mm)	78.2	48.6	58.2 ~ 90.2
頭長 (mm)	19.8	12.4	—
体高 (mm)	31.6	19.6	—
尾柄高 (mm)	9.4	6.6	—
背鰭基底長 (mm)	22.4	13.8	—
臀鰭基底長 (mm)	12.2	9.4	—
背鰭条数	Ⅲ,12	Ⅲ,12	Ⅲ,12 ~ 13
臀鰭条数	Ⅲ,10	Ⅲ,10	Ⅲ,9 ~ 11
側線鱗数	37	37	37-40
上方横列鱗数	6	6	6
側線下方横列鱗数	5	5	4 ~ 5
標準体長/体高	2.5	2.5	2.1 ~ 2.7
標準体長/頭長	3.9	3.9	3.7 ~ 4.1

結果と考察

調査はたも網によって行った。2020年8月8日にメス1個体(全長62.9 mm)を入鹿池下流の五条川で採集した。その後、同じ場所で2020年10月3日と同月4日にオス5個体、メス7個体を採集した。この時に採集した雌雄の全長は約70 mmから100 mmであった。

8月8日に採集されたメス1個体と10月3日に採集されたオス1個体を標本として、全長、標準体長、頭長、体高、尾柄高、背鰭基底長、臀鰭基底長、背鰭条数、臀鰭条数、側線鱗数、上方横列鱗数、側線下方鱗数を計測計数した(第1表)。これらの形態について中村(1969)と比較したところ、特筆すべき差は見いだせなかった。

本種のオスの婚姻色は背鰭と臀鰭が桃色に変化し、河川の透明度が高ければ、水面からの観察でも他種と容易に区別がつく。そのため10月3日の採集を行う前に、1時間ほどオスの目視確認を行った。調査範囲は最初に本種が確認された地点を中心に前後500 mの範囲で行った。目視確認できた範囲は200 mほどと比較的狭い範囲内だけであり、全長約100 mm フナ属の一種 *Carassius* sp. の複数の群れにそれぞれ混ざって遊泳しており、概算でフナ100個体に対し5個体ほど確認できた。

10月3日と4日に採集された個体は、標本に用いたオス1個体を除き、すべて持ち帰り飼育した。飼育開始後10月8日にメスの1個体の産卵管が十分伸

びた個体と任意のオス1個体を用い、人工授精を行ったところ、容易に採卵と採精ができ、10月11日に孵化したことが確かめられた。そのため、調査を行った10月3日から4日は産卵直前であったと考えられ、調査地でも繁殖している可能性が示唆された。

本調査地は入鹿池の下流側の五条川であり、木曽川から取水されている木津用水と愛知県丹羽郡大口町で合流する。先述したように一宮市内を流れる木曽川では本種生息の報告があり、木曽川から木津用水に流下した個体が五条川に遡上することも考えられたが、本調査地より下流には、落差1 mほどの堰堤が複数あるため、木津用水からの遡上は不可能と思われる。また現在までのところ入鹿池で本種が確認された報告もない。さらに本調査地は筆者が20年近く不定期に魚類調査を行っており、直近では2018年9月16日に調査を行い、その時に本種は確認されなかった。

中村(1969)によれば、本種は孵化後約1年で全長60 ~ 80 mmに達し、満2年で100 ~ 120 mmに達する。本調査で確認された個体は8月に確認された個体が全長62.9 mm、10月に確認された複数の個体が全長約70 mmから100 mmであり、2年前に移入された成魚の子孫か、それより後になって成魚を移入された可能性が考えられた。

今回、確認された範囲は局所的であり、その生息数もフナ属の一種など同所的に生息する他魚種と比べて多くはない。これらのことから、この2年ほどの間に上流部である入鹿池等から流出したか、少数の飼育個体が本調査地付近で遺棄され、2年ほどで殖えたことも考えられた。

一方で本種は観賞魚として人気が高く、日本産淡水魚を扱っている観賞魚店やネットオークションで少なからず販売される。また、本調査地では本種の産卵母貝の一種であるササノハガイ（トンガリササノハガイ）*Lanceolaria oxyrhyncha* (Martens, 1861) の生息が確認されている（山岡，2003）。犬山市は尾張地方の中でも、木曾川や入鹿池，中小河川，ため池，湿地など多様な水環境を有する地域である。さらに，道路なども整備されているため，名古屋市や岐阜市など都市部からのアクセスが容易である。過去にも観賞魚として売買される魚類が定着しており，五条川上流で岡山县吉井川水系産（向井，2017）のオヤニラミ *Coreoperca kawamebari* (Temminck et Sclegel, 1843) が放流され現在も定着し，2018年にはオヤニラミに托卵するムギツク *Pungtungia herzi* (Herzenstein, 1892) も確認されている（大仲・向井，2019）。そのため，これらの観賞魚由来と考えられる国内外来種と同様，本種の生態や犬山市内の環境条件を熟知した飼育マニアが本種の増殖を見込んで意図的に密放流した可能性もあると考えられた。

山岡雅俊，2003. 犬山市の淡水貝類. 豊橋市自然史博物館研究報告，(13)：11-19.

謝 辞

本報告をまとめるにあたり，NPO 法人犬山里山学研究所理事長，林進博士には便宜を図っていただいた。また，同じく研究所特任研究員，佐橋治彦氏，武田和明氏に犬山市内や愛知県内のタナゴ類の分布状況について情報を教示していただいた。これらの方に厚く御礼申し上げる。

引用文献

- 北村淳一・内山りゅう，2020. 日本のタナゴ 生態・保全・文化と図鑑. 山と溪谷社，東京，223 p.
- 国土交通省，2020. 平成30年度 河川水辺の国勢調査結果の概要. (河川版) (生物調査編) <http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/mizukokuweb/download/pdf/gaiyo/h30/30-000sougou.pdf> (2020年10月11日確認).
- 向井貴彦 (編著)，2017. 岐阜県の魚類. 岐阜新聞社，岐阜市，216 p.
- 中村守純，1969. 日本のコイ科魚類 資源科学シリーズ4. 緑書房，東京，455 p.
- 大仲知樹・向井貴彦，2019. 愛知県犬山市で発見された国内外来種ムギツク. 豊橋市自然史博物館研究報告，(29)：33-35.